

トレンド提言

—2016年世相を詠む—

世相を詠む、として始めたこの作業は今年で28年を重ねることとなった。

世の移ろいは自然界では近年異常気象が増えている。それでもなお太極的には自然の法則それ自体は変わることはあるまい。

一方人間界の移り変わりは複雑怪奇、多岐多様化。しかもそのスピードが早い。

この中からこの1年間の人、もの、カネ、そして自然界の特徴的な動きをキーワードとして三十一（みそひと）文字に折り込もうとするのである。キーワードは数多あるが、その選び方は作者の独善となる。

日本語の素養、語彙に乏しく、表現力が拙劣なことは今更どうにもならない。また和歌は「人の心を詠むもの」（紀貫之）とされるが、その道からも外れている。

にもかかわらずこの1年間の動きについて、忘年会などの酒の肴にしてもらえばと思い、今年も拙首を詠んでみた。

それにしても地球上の73億人、3500万種の生きものたち、みんなそれぞれに必死に生きようとしている。敬意を表したい。相互に信頼を深め、理解し合い、愛をもって共存したいものである。

お蔭さまで11月に戸籍上は82才を迎えることになったが、歳を重ねても恋心は及ばないにしても詩心は持ちたいとおもう。

本年も大変お世話になり感謝申し上げたい。来年も好奇心を旺盛にして世の求めある限り精進したい所存。

皆さまよい新年をお迎えになりますように。

2016年 師走
詠み人 工藤芳郎

世相いろはかるた

い (あ) いく年か シリア内戦 停戦は

米口の責任 世界に示せ

(シリアだけで難民は1,350万人。受け入れ問題でEU諸国で賛否両論。内戦とは言え米国、ロシアの介入による責任は大きい)

ろ 論理なし 策なし夢なし 品^{ひん}もなし

アメリカの民度 大統領選にみる

(アメリカ大統領選挙の様子が3度のテレビ討論で放映された、政策議論よりも個人攻撃が目立った。史上最低の内容といわれていた。)

は 花見客 焼きとりおでん 帯和服

主人公は外国人となり

(上野公園の花見客、その6割は中国人など外国人だったという。日本の食べもの和服に大人気)

に 忍耐を 重ね重ねた 豪栄道

国技の盃^{さかずき} 20年ぶりに

(国技の大相撲、日本人力士の全勝優勝は1996年貴乃花以来20年ぶり。豪栄道はカド番の場所を乗り切った。(秋場所)大阪出身力士の優勝は1930年夏場所の山鉾以来86年ぶり)

ほ 北方の 領土めぐりて 60年

原点に戻り 返還求めよ

(今年の日ソ共同宣言(1956年、鳩山一郎首相時)調印から60年。

ここでは平和条約締結後、ソ連は歯舞群島、色丹島を引き渡すと規定されている。領土交渉はこの原点に基いて進めるべきだ。2島返還には当時米国が強く反発した経緯がある)

へ 辺野古沖 強行埋め立て 民怒る

平和の海に ジュゴンや悲し

(沖縄は日本の領土。無条件に日本に復帰させなければならない。日米安保条約、日米地位協定は日本の主権、自治権を侵している。辺野古の海にはサンゴ、ジュゴンも生息している)

と 富める者 貧欲尽きず 税のがれ

タックスヘイブン パナマにハマ

(世界の富裕層、タックスヘイブン。「税金のがれ」の声は高いが打つ手なし)

ち 知事として 見ざる聞かざる 記憶なし

豊洲の安全 都民を欺すな

(石原元都知事、豊洲移転問題に無責任な回答)

り リーダーは 女性の時代 西東

女帝のきびしさ 古へを想う

(英国首相、ドイツ首相、オーストラリア首相、韓国大統領、ミャンマー国家顧問、東京都知事、ローマ市長など女性のリーダー続出。米国初の女性大統領実現せず。清の西太后の専制政治の再来を想起せずに済ませたい)

ぬ 抜きん出て 名利むさぼる ひと握り

財多ければ 守るにまどし

(世界62人の富豪が36億人分の財を占めている現代社会、「名利につかはれてしづかなるいとまなく、一生を苦しむこそ愚かなれ。財多ければ身を守るにまどし。」「徒然草第38段)

る 累積す 千兆借金 世界一

返すあてなく 増やし続ける

(国の借金残高は1千兆円を超えている。一体誰のため何のため増嵩したのか。民間企業なら大問題となる。にもかかわらず返す可能性もなしに国債は増やし続ける。世界一の借金大国だ)

を (お) 大いなる 夢を描くか 一帯一路

アジアの平和 覇権に走るな

(中国は陸路、海路で中東、ヨーロッパ諸国を新たに結ぼうとする新シルクロード路線を開発している。問題は一帯一路戦略がアジア諸国に覇権(武力による制圧)の危惧をもたらしてはならない)

わ ^{わけ}理由ありか 年金削り 介護費上げる

高齢社会は 冬の時代に

(年金カット 介護費負担増の流れが強まっている。社会保障政策は低所得の高齢者にはきびしい時代が続く)

か 勝つために 手段選ばず ドーピング

芸能、スポーツ ^{いのちす}生命棄てるな

(ロシアのオリンピック候補選手、テニスのシャラポアなど日本では才能ある芸能界の若人ドーピング事件多発、競争主義の行き過ぎか)

よ 4年後の 成長ねらう 五輪族

アスリート抜きに 権益争う

(2020年の東京五輪は経済効果ねらいが先行したことが混乱の原因。

ボート会場の変更、コスト削減問題のネックは五輪族(政治家、都の職員、ゼネコン、放送関係等)にある)

た ^{ビル}建物そびえ クルマあふれる 北京の都

もうけ忙し 倫理失せゆく

(現代中国の近代化は目ざましい。反面心の文化は失われつつある。

9月、12回目の訪中での雑感)

れ 冷戦に ^{うた}抗して詩う ディランさん

風に吹かれて 文学賞に輝く

(ボブ・ディランさん(1941年生)のシンガーソングライター、「風に吹かれて」や「戦争の親玉」など戦争や人種差別に反対するメッセージ性の強い作品で米国の多くの若者に支持された。歌(詩)の力で反戦、差別解消を訴えたことしのノーベル文学賞受賞)

そ 空の果て 宇宙の果に 開発の夢

姫の願いは 平和と幸せ

(宇宙開発競争が激化している。目的は軍事目的であってはならない。かぐや姫の願いに応えよ)

つ ツンドラの 凍土解けゆき 温暖化

危機感深め 地球をまもれ

(アラスカ等の凍土が解けはじめている。そこから大量のメタンガスが発生し、地球温暖化を加速している。パリ協定の実現は地球をまもる最小限の課題だ)

ね 念願の 新幹線は ^{えぞ}蝦夷の地へ

赤字路線を 犠牲にするな

(新幹線が函館まで延びた(4月)。だが在来線の大半は分割・民営化以前から赤字路線。赤字対策は国の責任だ。経済優先、コスト主義では市民の足は守れない)

な 何故に 市場移すか 豊洲の島へ

都民の食卓 不安を残す

(小池都知事の当场を契機に築地市場の移転をめぐる問題次々に。誰のため、何故の疑問に都政の責任は大)

ら 乱暴に 相手を責める トランプさん

己れを責めて ^{ひと}他人をせめるな

(米大統領選にみるトランプ候補、個人口撃に終始。リーダーの資格なしと評されたが第45代大統領に当選。今後どのようなリーダーとなるか注視したい)

む 無駄なしか 東京五輪は 青天井

予算に群がる 利権集団

(東京五輪施設整備費は当初の800億円が3兆円にも膨れ上がっている。経緯と積算根拠が開示されなければならない。オリンピックをカネ儲けに悪用させてはならない)

う うつの日に 故なく怒る 認知症

^{はいかい}徘徊うろつき ^{ひど}ものわすれ酷し

(高齢社会の悲劇)

の 飲み食いも 政務活動 富山市議

ドミノ辞職で ことを済ますな

(政権活動費のあり方は、かねてより問題だ。今年は富山市議会議員の不正受給が明るみに出て議長など12名が辞退した。富山県議会議員も辞退。これらは地方議員の氷山の一角とみられる。政務活動費の執行率は全国86%、富山市は100%使い切り)

お(を) 大方の 予想はずした マスメディア

敗者の痛み 知るよしもなし

(トランプを支持したのは失業、低賃金に悩む鉄鋼・自動車産業などの競争に敗れた白人労働者たちだった。世論調査は彼等(負け組)の不満を知ろうとしなかった)

く 黒塗りの ペーパーにみる TPP

問題山積 なぜに急ぐか

(TPPの審議は「外交案件」を理由に資料非公開。決まったことには文句なしに従えといわんばりの国会審議だった。公議輿論 VS 有司専制)

や 安かろう 悪かろうの もうけ主義

火を吹くスマホ 持ち込み許さず

(サムソンのスマホ(ギャラクシーノート7)、原因不明の発火相次ぐ。日米航空機内持ち込みを禁止する)

ま 待ちわびし 幾千万の ファンらは

偉業とともに 品性学ばん

(イチロー選手、大リーグで3,000本安打達成。ファンは7月下旬から8月9日の間、あと2本から1本と待ちわびた。記録も偉大だが、彼の仕事に向うスタンスに学びたい)

け 景気策 アベノミクス 三本の矢

どこへ飛んだか 民には届かず

(アベノミクスは景気好循環をねらう。現実にはカネは天下の回りもの。だが吾輩の処は避けて通っている。日銀金融主導のマネーゲームで国民生活は潤うだろうか)

ふ 古くとも 世界に誇れる 憲法を
数を頼みに ^{なにゆえ} 何故変えるか

(憲法は制定以来、改正されていない。その理由は内容が優れているからだ。日本列島周辺環境が変化したからとて改正は慎重でなければならない)

こ 高齢化 介護する人 される人
政治の貧困 民は苦しむ

(高齢社会の進行、高齢者(65歳以上)は3,461万人。国民の3人1人となった。年金、医療と並んで介護問題は深刻化している)

系(え) 絵にせんと パフォーマンスに 明け暮れる
智慧もて愛もて 利他のところを

(テレビ時代の政治家はじめ現代人に求められること)

て 天皇の 平和の願い いざ知らず
「有識者」らは 退位に走る

(天皇陛下は8月8日、ご自身の加齢と象徴天皇としての役割について国民向け「お気持ち」をビデオメッセージを通じて表明された。「お気持ち」の真意は果して「生前退位」なのだろうか)

あ 雨嵐 史上初めて 北国襲う
海温もりて サンマも住めず

(産業革命以来、すでに地球の平均気温は1℃も上昇、さらに上がり続けている。地球温暖化で台風の発生地域は150kmも北上したという。東北方面に台風の上陸は初めて。海水温上昇でサンマ三陸沖を避ける)

さ サミットは 伊勢えびあわび おもてなし
アベノミクス 思惑はずれ

(G7伊勢志摩サミットは5月26~27日開かれた。安倍政権は消費税値上げ回避、参院選にサミットを利用しようとしたが各国首脳は乗らなかった)

き 窮極の 安全利便 行く末は

AI まかせか ひとの^{こころ}技術か

(AI時代の到来、自動運転の車も走る時代となる。利便性は高まるだろうが安全性の確保が重視されなければならない)

ゆ 優先の 席に陣どる スマホ族

見て見ぬふりの 世相やおそろし

(毎日の電車内で見られる現実、多くの乗客は見て見ぬふり。物質文明は豊かになったが、人心は貧しくなっている)

め 恵まれし 時は過ぎゆき 新格差

マネーゲームで 民救えるか

(先進国の成長時代の豊かさは転換期を迎えている。新自由主義も格差社会という負の遺産を生みだした。金融で経済をコントロールすることは一部の人たちを潤わせるが多くの国民は救われない)

み 耳ふさぎ スマホ夢中で 街歩く

IT 病者 我が道を行く

(スマホへの熱中は今や現代病だ。韓国の学生の中には学業成績が落ちる者が多いという)

し ^{しんぜんび}真善美 エロス求めん 水中花

美女の艶技に 胸は高まる

(リオオリンピックでは女性の活躍が目立った。中でもシンクロナイズドスイミングは感動的だった。真善美(認識上の真、倫理上の善、審美上の美=普遍妥当な価値)の世界に到達しようとする衝動をエロスと称したのはプラトンとされる)

ひ 火の国に 襲いかかりし 地の怒り

地震列島 他人^{ひと}ごとでなし

(今年の熊本は4月の地震(M7.1)、10月には阿蘇の噴火と災難が続いた。また10月には鳥取県を震源地とした地震が中国地方、関西にまで多発した。地震列島に住むものとして明日は我が身とおもわざるを得ない)

ひ 悲願なる 広島訪問 大統領

核廃絶の 叫び聞いたか

(5月27日オバマ大統領、米大統領としては初めて原爆ドーム訪問、だが核廃絶の道筋見えず)

も 物言わぬ 大株主に 日銀年金

自由な市場 日銀爆買い

(東証一部上場企業1,970社のうち470社の筆頭株主、「日経」225社の1/3を占める。日銀、年金、株価操作は外人投機と日本政府機関による)

せ 戦争の 愚かさ知らぬ 政治家多し

平和の誇り 世界に広げん

(戦後71年、戦争の愚かさ、惨禍を知らぬ政治家が多くなった。憲法改正の動きも。平和憲法を誇りとせねばならない)

す スマートさ モットイもないの 東京五輪

健全公正 世界の範たれ

(東京五輪の会場、設備建設費などをめぐってバナナのたたき売りのような議論が錯綜した年だった。多様な各界からの要求をオリンピック精神を基軸に実現したい)